

話し合ったテーマ

基礎自治体ごとに話し合いたいテーマを事前に設定しました。

森林資源を活用した新しいコンテンツの創出 ①

自治体名

神流町

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいのかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか？を、「問い」のかたちにまとめました。

1 お金が儲からない

移住希望者の若者が林業や森林活用に興味を持ち、林業や新たなビジネスを始めるために、何が可能か？

2 資源の活用を考える人がいない

山林の所有者、後継者が所有する林業や森林資源の価値を認識し、資源を活用するキーマンになってもらうために、何が可能か？

3 検討体制の弱さ

町民が地域の魅力や森林資源の活用について話し合い、森林資源の適切管理や産業化するために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

| | | | |
|---------------------------------|---|------------------------|---|
| <p>みんなで森林未来マップを描く！</p> | <p>毎月森の中（+オンライン）で、森林活用に積極的な町民が町の森林活用の未来を考え、森林未来マップを描く。また自治体ごとに検討会を立ち上げる。</p> | <p>所有者向け森林アドバイザー制度</p> | <p>山林所有者が山林のことで困っているとき、神流町役場で町役場が用意した森林アドバイザーと相談ができる。山林所有者が若者や、県外にいる所有者、後継者向けに定期的に話し合えるセミナーを開いたり、相談内容のデータベース化およびSNS発信を行う。</p> |
| <p>森人の日々（森の魅力を伝えるハートフルコメディ）</p> | <p>日常的に神流町の森で、神流町に住んでくれるイラストレーターや漫画家さんに1年間住居を無償提供し、林業をテーマにしたアニメや漫画を製作し、日々投稿してもらい、SNSで森の毎日を発信する。</p> | <p>神流町発木材プロダクトショップ</p> | <p>道の駅・オンラインショップ・首都圏で、まちが選定した職人や企業が専門店とWebショップの立ち上げを行う。また木材プロダクトを開発したり、SNS発信なども積極的に取り組む。</p> |
| | | <p>木材デザイナー発見会</p> | <p>町内山林所有者や行政がウェブでデザイナーを募り、木材製品の開発をし、木材プロダクトショップで販売する。また、木材デザイナーの発見会を行う。</p> |